

▼4月13日 中主幼稚園



支え合い 地域の絆

第9回おうみ社会貢献賞を受賞されたボランティア団体 [喜楽会 | の皆さんが、その報告のため市役所を訪れました。 地域内の絆が薄れないようにという思いから奉仕を通じ ての地域づくりをめざし、平成2年に設立。

主な活動内容は、清掃作業やアーモンドの植樹、小学生 の見守りなどです。

会長の田中修さんは「今後は貧困家庭の支援や地域カ フェなどを通じて、さらに地域の絆を深めていきたい。| と話しておられました。

入園おめでとう!

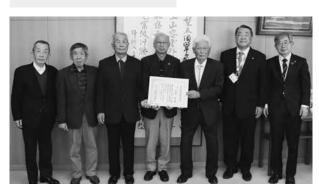
中主幼稚園で令和3年度第55回入園式が執り行われ、 新しく89人の子どもたちが園の仲間となりました。

少し緊張した様子の子どもたちでしたが、担任の先生か ら名前を呼ばれると大きな声で「はい!|と返事をし、先 生と一緒にチューリップのうたを歌うと少しずつ緊張がほ ぐれ笑顔がもどりました。

また、市内各保育所(園)、幼稚園、こども園、小・中 学校でも、入所(園)・入学式が執り行われ、子どもたち の新生活がスタート!

皆さんの健やかな成長をお祈りしています。

▼3月19日 市役所





歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

安寧を祈る民俗行事―勧請吊

勧請吊とは、正月の注連縄飾りとは区別されるもので、 年頭に勧請縄(ツナ、ジャとも)と称する大縄を吊るし、 村内安全や五穀豊穣を祈願する民俗行事です。古くは悪疫 や災いは外界からやってくるものと考えられ、集落の出入 り口や神社の境内などに神聖な力を宿した大縄を吊るすこ とでそれらの侵入を防ぐとされました。今日の野洲では、 矢放神社(吉川)、苗田神社(須原)、狩上神社(堤)、 千原神社 (井口)、三之宮神社 (六条)、屯倉神社 (市三宅)、 三上神社と山の神 (どちらも辻町)、行事神社 (行畑)、 新川神社(野洲)、冨波乙の辻で伝わっています。

地域によってさまざまな形状の勧請縄が見られますが、 大縄の中央にカナメや杉、竹などの植物で円形にかたどっ たものを下げたり、樒や榊、あるいは紙垂(特殊な切り方 をして折った紙)をつけた小縄を12本(閏年には13本)飾

る形は共通して見られます。市外で見られる勧請縄には 「村内安全」などの祈祷文や、十三仏の尊名、梵字などを 記した板を中央に吊るす地域もあります。これを勧請板と いい、滋賀県彦根市松原内湖遺跡では、元徳3 (1331) 年 の年号や般若心経十二巻などを転読し、健やかな日々を 願った文言がみえる勧請板が出土しています。

野洲では神社境内における勧請吊が多く、神社の行事 と考えられがちですが、勧請板の墨書などからは仏教的な 祈祷の姿をみることができます。現代まで脈々と語り継が れる勧請吊は、安寧を願う人々の祈りが投影された重要な 文化といえるでしょう。

(市史専門調査員 江藤弥生)



中ノ池川橋近くの辻 (2021年撮影)

■テーマ展「魔除け・厄除けの文化 -滋賀県野洲の暮らしと風習ー」 開催中~5月30日(日) 休館日:月曜日(祝日は開館)、5月6日休 ※市民は入館無料(運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。) ※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。